

200/300シリーズマネージドスイッチでHyper Text Transfer Protocol(HTTPS)サービスを有効にする

目的

デフォルトでは、200/300シリーズマネージドスイッチは、Webブラウザから設定ユーティリティを使用して設定できます。管理者とスイッチ間の接続は暗号化されません。Secure Socket Layer(SSL)プロトコルと連携するHyper Text Transfer Protocol Secure(HTTPS)サービスを有効にすると、スイッチの設定ユーティリティを使用して、より安全なWebブラウザ接続を管理者に提供できます。この記事では、200/300シリーズマネージドスイッチでHTTPSサービスを有効にする方法について説明します。

適用可能なデバイス

- SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

- 1.3.0.62

HTTPSサービスの有効化

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、Security > TCP/UDP Servicesの順に選択します。TCP/UDP Servicesページが開きます。

TCP/UDP Services

HTTP Service: Enable

HTTPS Service: Enable

SNMP Service: Enable

Telnet Service: Enable

SSH Service: Enable

Apply

Cancel

ステップ 2 : SSLを介したグラフィカルユーザインターフェイス(GUI)へのアクセスを有効にするには、HTTPS Serviceチェックボックスをオンにします。

ステップ 3 : Applyをクリックして、すぐにHTTPSサービスを有効にします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。